

ろうさい病院つうしん

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6 TEL: 052-652-5511
<http://www.chubuh.johas.go.jp/> FAX: 052-653-3533

目次: 診療科スポットライト第4回…P1
地域医療連携室からのお知らせ…P4

病院からのお知らせ…P2

医師交代…P3

診療科スポットライト第4回

当院の麻酔科のご紹介

麻酔科部長 開田 剛史



病診連携の先生方には平素より大変お世話になっております。中部労災病院 麻酔科部長の開田と申します。今回は当院の麻酔科についてご紹介させていただきます。

当院の麻酔科はおもに手術麻酔および集中治療を担当しております。2021年度の総手術件数は3,184件で、そのうち1,693件を麻酔科で担当しました。全身麻酔での手術依頼に関しては夜間・休日を含め、すべて麻酔科管理で行っております。ハイリスクな患者さんの場合、主治医だけでは術前合併症への対応に苦慮することもあるので、麻酔科が各診療科と主治医の橋渡しを行い、術前に必要な検査や治療を行っております。全身麻酔管理が困難な場合でも硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロックなどの局所麻酔下に鎮静薬を併用するなど患者さんへの負担の少ない麻酔方法を検討し、できるだけ手術麻酔依頼は断らないように努め、患者さんに安全に手術を受けていただけるように努力しております。また、“手術の後に痛いのは当たり前”ということがないように、術後鎮痛に関しても力を入れております。昨今では高齢者の増加や、術後の深部静脈血栓症予防など周術期の抗凝固薬使用が増えております。そのような患者さんで硬膜外麻酔が行えない場合でも、術後鎮痛の一助となるように超音波エコー下で末梢神経ブロックを行っております。

当院の麻酔科の特徴として、麻酔科医が集中治療室管理に携わっていることも挙げられます。患者さんの術前の状態と術中の状況を把握している麻酔科が術後管理に関わることで一貫した周術期管理が行えることも、当院の強みです。術後合併症に関しても、麻酔科が各診療科との仲介を行い、協力して集学的治療を行っております。また、救急外来からの入院に関しても積極的に受け入れ、主治医と協力しながら全身状態の管理を行っております。

先生方からご紹介いただいた患者さんが安心・安全に治療を受けていただけるように、今後も新しい知見を取り入れながら邁進してまいります。

病院からのおしらせ

～健康レシピに関する 書籍を出版しました～

連携医の先生方、医療関係者の皆様には平素よりお世話になっております。

この度、当院の糖尿病内分泌内科・栄養管理部共同で「中部ろうさい病院オリジナル～いつまでもおいしく食べたい健康レシピ～」を発刊いたしました。

本書は、中部ろうさい病院で実際に提供したメニューのみで構成したレシピ集となっており、栄養バランスのよい献立の組み合わせ方法や健康になるための秘訣を紹介しています。

また、当院における肥満や糖尿病治療の取り組みについても、わかりやすく解説しています。

現在、院内1階カフェ・ド・オアシス、Amazon、近隣書店で発売中です。

ぜひ、患者さん・スタッフの皆様にもご紹介していただけますと幸いです。

今後も引き続き、専門性を高めた多職種によるチーム医療を実施して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

●三省堂書店 名古屋本店にて「趣味・生活」部門の9月2日～9月8日の売り上げ1位

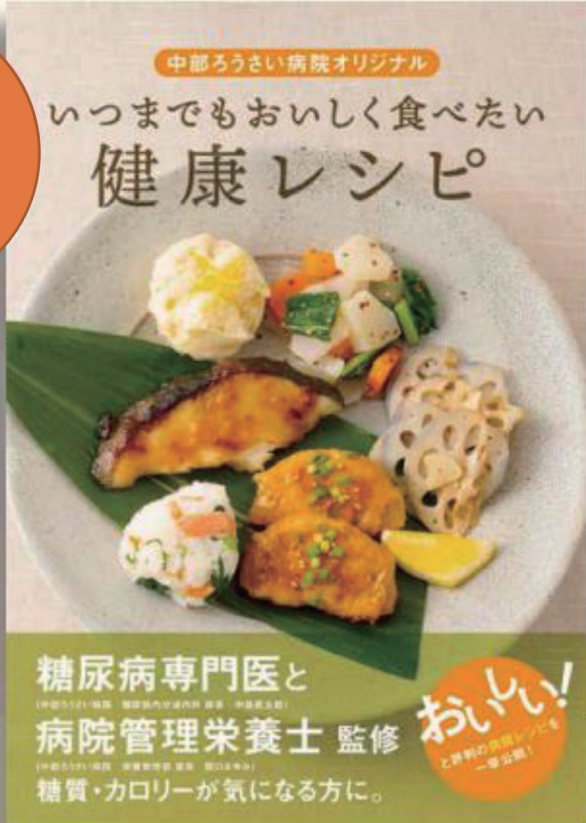


中部ろうさい病院オリジナル

「健康レシピ」発刊!

監修／糖尿病専門医(中部ろうさい病院 糖尿病内分泌内科 部長 中島英太郎)
病院管理栄養士(中部ろうさい病院 栄養管理部 室長 関口まゆみ)

カフェ・
Amazon・
近隣書店
好評販売中



中部ろうさい病院オリジナル
いつまでもおいしく食べたい
健康レシピ

糖尿病専門医と
病院管理栄養士 監修
糖質・カロリーが気になる方に。

おいしい!
と評判の健康レシピ
一巻必読!

医師交代

☆退職

(令和4年7月29日付け)

武田 裕介 呼吸器外科医師

(令和4年8月31日付け)

松井 徹 放射線科部長

(令和4年9月2日付け)

上田 雅道 神経内科医師

(令和4年9月25日付け)

片山 良仁 整形外科部長

(令和4年9月30日付け)

日比 絵里菜 産婦人科医師

中村 旭宏 脳神経外科医師

☆採用

(令和4年7月1日付け)

高橋 砂朱 麻酔科医師

(令和4年9月1日付け)

杉山 友章 麻酔科医師

(令和4年10月1日付け)

吉田 有佑 神経内科医師

林 優佑 糖尿病内分泌内科医師

吉田 康将 産婦人科医師

竹内 一生 脳神経外科医師

地域医療連携室からのお知らせ

～地域連携システムを新たに導入いたしました～

令和4年7月より、地域連携システム（ファーストパス）を新規導入いたしました。

この地域連携システムを導入したことで、連携医療機関様から紹介いただきました患者情報を、予約から来院、連携対応履歴、返書管理に至るまで、一元的に管理することが可能となりました。

なお、地域連携システム導入により、当院から郵送する診療情報提供書等につきましては、登録いただいている情報をもとに、窓付き封筒を使用させていただきますので、よろしくお願いいたします。

これまで以上に、ご紹介いただいた症例の情報提供を積極的に行ってまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



メディカルサポートセンター

（平日 8:15～19:30）

（TEL）052-652-5950

（FAX）052-652-5716

センター長：丸井 伸行（副院長）

センター室長：鈴木 美代子（看護副部長）

連携課長：内村 一郎（医事課長）

連携係長：酒井 伸郎（入院係長）

事務担当：今枝 智子・富満 一毅・安井 正幸

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

編集後記 爽やかな秋風が感じられる季節となりました。昨今、医療機関や行政機関において、業務のデジタル化が進められております。当院は引き続き、業務のデジタル化につとめ、円滑な連携・安全な情報管理を実現してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

広報委員長：神経内科 亀山 隆

編集担当：神経内科 上條 美樹子 歯科口腔外科 鶴迫 伸一

事務局 新田 晃子 今関 信夫

